

会場

関空から京都駅へ

JR 西日本特急はるかで約 80 分

JR 西日本関空快速で大阪駅まで約 65 分、新快速に乗り換え
京都駅まで約 31 分

JR 京都駅から京都大学まで

[タクシー]

所要時間、約 20 分

[京都市バス]

所要時間、約 30-35 分、京大正門前下車約 5 分

京都大学

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

<http://www.kyoto-u.ac.jp/index-e.html>



京都大学百周年時計台記念館

<http://www.kyoto-u.ac.jp/english/etop2/e11-top.htm>



時計台記念館

正門

第 9 回

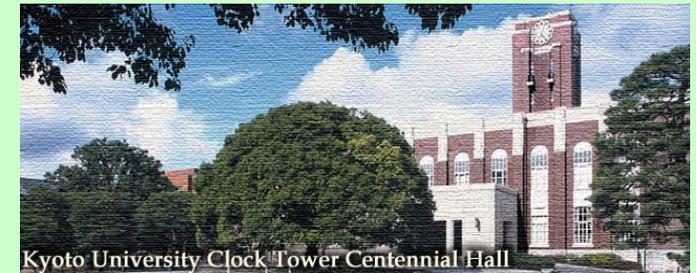
京都大学

国際シンポジウム 2007

人間の安全保障のための地球環境学

京都大学百周年時計台記念館

2007 年 6 月 22 日(金)-23 日(土)



主催

京都大学

企画・実施

京都大学大学院地球環境学学 (GSGES)

京都大学国際交流推進機構 (OPIR)

協力

京都大学教育研究振興財団 (KUF)

京都大学フィールド科学教育研究センター (FSERC)

京都サステナビリティ・イニシアティブ (KSI)

後援

環境省、京都府、京都市、西条市、

環境経済・政策学会、地盤工学会、土木学会、日本景観生態学会、

株式会社ベネッセコーポレーション

シンポジウム趣旨

「第9回京都大学国際シンポジウム」は、京都大学における地球環境学研究教育のこれまでの成果の上に立ち、「人間の安全保障のための地球環境学」を全体テーマとして開催するものです。人間の安全保障の根幹は、「環境の持続可能性」の確保であり、そのためには、自然科学・社会科学・人文科学の諸学の成果を統合した地球環境学の生成と発展が不可欠です。

本年は、京都の地で京都議定書が採択されてから10年、京都大学の地球環境学が発足して5周年に当たります。この記念すべき年に、京都大学百周年時計台記念館でシンポジウムを開催し、地球環境学研究教育の成果と政策的な提言も含め、京都から世界に向けて発信するものです。

使用言語

英語（おそれいりますが貸出用同時通訳機は先着400名様限り）
（22日は、日本語への同時通訳がつかます）

事前登録

事前登録フォームに必要事項をご入力の上、事務局までメールでお送りください。なお、シンポジウム参加費は無料です。事前登録フォームは、下記のウェブサイト（ホームページ）からダウンロードできます。

<http://www.ges.kyoto-u.ac.jp/events/intSympo1.html>

シンポジウム実行委員会

委員長 松下和夫 京都大学大学院地球環境学学術教授

事務局

田中俊徳 同地球環境学学術

e-mail: symposium@ges.kyoto-u.ac.jp
FAX: 075-753-9187

（問い合わせ専用）
TEL:080-6157-8732

プログラム

6月22日(金)

京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール
受付 12:30-
京都大学総長挨拶 13:00-13:10
京都大学総長 尾池 和夫
学術長挨拶 13:10-13:20
京都大学地球環境学学術長 嘉門 雅史
特別講演
「**気候安全保障という考え方**」 13:20-14:00
首相補佐官（安全保障担当）前環境大臣 小池 百合子
「**環境と人間の安全保障：相互の関連**」 14:00-15:00
シドニー大学国際安全保障研究センター Alan DUPONT

パネルディスカッション

「**人間の安全保障のための地球環境学**」
コーディネータ: 松下 和夫
京都大学地球環境学学術
パネリスト:
シドニー大学国際安全保障研究センター Alan DUPONT
ペラデニヤ大学地理学学術 C. M. M. BANDARA
環境省地球環境審議官 小島 敏郎
立命館大学大学院政策科学研究科 佐和 隆光
京都大学地球環境学学術 Rajib SHAW

閉会の辞 17:20-17:30
京都大学三才学林長（副学長） 横山 俊夫

6月23日(土)

招待講演（3分科会） 10:00-12:00
（昼食） 12:00-13:00
ポスター発表(国際交流ホール III) 12:00-13:00
一般発表・招待講演等（3分科会） 13:00-15:00
総合討論 15:30-17:30

第1分科会「サステナビリティを考える」

（国際交流ホール I）

コーディネータ:
京都大学地球環境学学術 植田 和弘
京都大学地球環境学学術 松岡 譲
京都大学 KSI・経済研究所 一方井 誠治
招待講演: 10:00-12:00
カリフォルニア大学デービス校農業資源経済部門
Hossein FARZIN
コメンテータ: 京都大学地球環境学学術 武部 隆

インド経営大学院公共システムグループ P. R. SHUKLA
コメンテータ: 京都大学地球環境学学術 森 晶寿
一般発表: 13:00-15:00
京都大学 KSI・地球環境学学術 筆橋 一輝
京都大学 KSI・地球環境学学術 佐藤 真行
京都大学地球環境学学術 錦 真理
第2分科会「現代科学技術に求められる洗練とは何か」
（国際交流ホール）

コーディネータ:
京都大学地球環境学学術 横山 俊夫
京都大学地球環境学学術 三室 守
招待講演: 10:00-12:00
オックスフォード大学 IPM-Net Simon JACKMAN
韓国学術院学術員 Sang-yong SONG
東京大学理学研究科 寺島 一郎
京都大学人間・環境学研究科 安部 浩

一般発表 13:00-15:00
京都大学地球環境学学術 横山 俊夫
京都大学地球環境学学術 三室 守
京都大学地球環境学学術 杉山 雅人
京都大学地球環境学学術 松田 知成

第3分科会「フィールドとコミュニティから考える」

（国際交流ホール）

コーディネータ:
京都大学地球環境学学術 森本 幸裕
京都大学地球環境学学術 小林 正美
京都大学地球環境学学術 夏原 由博
招待講演: 10:00-12:00
国連大学高等研究所所長 A.H. ZAKRI
スタンフォード大学生物科学部門 Harold A. MOONEY
京都大学フィールド科学教育研究センター 山下 洋

ポスター発表 12:00-13:00
招待講演 13:00-14:00
ラムサールセンター・ジャパン 中村 玲子
フエ大学国際協力部門 LE Van An
西条市市長 伊藤 宏太郎
パネルディスカッション 14:00-15:00

コーディネータ:
京都大学地球環境学学術 田中 樹
休憩 15:00-15:30
総合討論「今後の地球環境学の方向性と展望」 15:30-17:30
（国際交流ホール I &）
司会: 京都大学地球環境学学術 植田 和弘